

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成25年度			
	事業名	地場産品及び伝統工芸品等の販路開拓推進		予算額	17,286千円		
				決算額	16,947千円		
	事業概要	伝統工芸品のインターネット通販、駿府楽市特産品展示コーナーの運営等により、地場産品や伝統工芸品等の販路開拓を図ります。		取組状況 H25.9.1 現在	JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催する。(年間来場者数500,000人) 駿河区丸子「駿府匠宿」ギャラリーにおいて年間23回の展示会を開催予定。(年間来場者数272,560人)		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(イベント開催回数) 51回	(イベント開催回数) 102.0 (%)				
	成果目標	各種展示販売イベント 50回/年 (駿府楽市や駿府匠宿のギャラリー等)		事業結果	■特産品展示販売 JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催した。(年間来場者数411,230人) 駿河区丸子「駿府匠宿」ギャラリーにおいて年間23回の展示会を開催した。(年間来場者数272,560人)		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	〔事務担当記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項	
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	〔事業担当記載事項〕	改善点・ 目標の未達成理由等			
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	③販路開拓支援					
所属部会	■販路開拓部会 部会長 山梨委員 部会員 杉山委員、秋元委員 ■事務担当 地場産業担当 浅沼副主幹		ここ数年において静岡駅の乗降客の減少が売り上げに影響し、苦戦を招いている。これはJR静岡アスティー全体の問題でもあり、現状、打開策が見いだせていない状況である。				
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業係 主査 武田英世 (内線) 81-6641						

事業 12	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成25年度		
	事業名	全国規模等の見本市への出展助成強化	予算額	14,100千円		
			決算額	14,019千円		
	事業概要	市内中小企業製造業者が市内外で行われる全国規模または国際的な展示会・見本市等に出席する経費のうち小間料について、助成を拡大します。	取組状況 H25.9.1 現在	<p>■平成25年度9月1日現在、補助申請件数は31件(30件)ございます(相談中の企業数は含まない)。また、その執行額は9,376千円(7,951千円)となっております。</p> <p>※()内は平成24年9月1日の数値</p>		
				補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(助成件数) H24 / 50件 H25 / 52件 計 / 102件 (参考) 対予算執行額	(助成件数) 72.9 (予算執行額) 99.4 (%)			
	成果目標	助成件数 140件/3年 (1社当たり、国内外 各1回の計2回/年に強化)		<p>■申請件数: 50件 執行額: 14,019千円(平成26年3月31日現在)</p> <p>■申請企業数は1社減となったが、執行率についてはほぼ満額執行となった。</p> <p>■当補助金を利用した50社の内、海外展示会への出展を行った企業数は4社であり、昨年と比較し1件増加した。また、補助金利用企業の内新規利用が7社あり、徐々に補助金の周知が図られている。</p> <p>■信用金庫を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p> <p>■平成24年度に制度を利用した企業に対しアンケートを実施。ニーズ把握等に努めた。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化			
		中施策	②経営基盤とマーケティング力の強化			
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価等 (事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進				
	基本施策	③販路開拓支援				
所属部会	<p>■商品開発部会 部長 中村委員 部員 藤田委員、太田委員 ■事務担当 工業支援担当 高柳主事</p>		<p>(事業担当) 記載事項</p>			
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 工業支援担当 主事 高柳伸悟 (内線) 81-6641</p>		<p>改善点・ 目標の未達成理由等</p> <p>■静岡市事務事業市民評価会議からの意見を反映し、同一会場で行われる同一の展示会に対する補助は3回までとする規定を設ける。また、従来の補助対象事業者であっても、「みなし大企業」に該当する場合は、補助対象事業者から除く規定も併せて設ける。</p> <p>■申請件数は目標を下回ったものの、執行率はほぼ満額執行となった。今後新規利用者が増えることを想定すると、来年度以降は予算が枯渇する可能性があるため、対応を検討していく。</p>			

事業 13	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成25年度		
	事業名	中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援(情報発信・ビジネスマッチングの機会提供)		予算額	0千円	
				決算額	0千円	
	事業概要	新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信やビジネスマッチングの機会提供を推進します。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>■まちながき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア 10月3日・4日 募集終了 参加企業1社 ・おた工業フェア 2月13日～15日 募集終了 参加企業1社 ・市内企業技術PR冊子「静岡匠工巧ナビ」を活用したビジネスマッチング提案</p> <p>■販路開拓事業(産業政策課) 民間コーディネーターの人脈を活用した「食」の海外展開支援のための台湾バイヤー商談会</p> <p>【今後の予定】 ・おた研究・開発フェア 10月3～4日 1社 ・おた工業フェア 2月13～15日 1社 ・市内企業技術PR冊子「静岡匠工巧ナビ」を活用したビジネスマッチング提案</p>	
					補足事項	進捗率等 H26.3.31 現在
	成果目標	支援事業への参加企業数 30社/3年 新規顧客開拓件数 6件/3年 新分野進出・業務転換企業数 3社/3年		<p>■まちながき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア(太田区) 10月3～4日 出展企業1社 ものづくり受発注商談会 10月5日 参加企業1社 ・おた工業フェア(太田区) 2月13～15日 参加企業1社 ・市内企業技術PR冊子「静岡匠工巧ナビ」を活用し、首都圏企業5社に 市内企業7社の情報を提供し、ビジネスマッチングを提案</p> <p>■販路開拓事業(産業政策課) 「食」の海外展開支援のための台湾バイヤー商談会 5月1日・2日 台湾バイヤー7社と静岡側セラー37社の商談会実施</p> <p>◇支援事業への参加企業 53社 ◇新規顧客開拓件数 2件 ◇新分野進出・業務転換企業数 6件</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
	まちながき戦略推進プランの位置付け	ビジョン	「鳥の眼」ビジョン			
		政策の柱	地元産業の活性化			
産業振興プランの位置付け	基本方向					
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企業立地担当 参事 杉山 禎之 (内線) 82-2406		その他(特記事項)	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>金融機関との連携についてさらなる充実を図る。 また、オンリーワン・ナンバーワン企業の発掘と、その技術や製品の効果的な情報発信を行っていく。</p>		

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度		
	事業名	マーケティング支援講座の実施		予算額	指定管理料115,540千円の一部	
				決算額	指定管理料115,540千円の一部	
	事業概要	産学交流センターにおいて、中小事業者等のマーケティング発想の醸成を図り、市場ニーズに対応した製品・サービスの開発を支援するため専門家等によるセミナー・研修を実施します。		取組状況	H25.9.1 現在	・マーケティング支援講座 5回 受講者数 384人 (内訳) ・5/15「今、モノづくりから、ブランドづくりへ・・・」 受講者数 106人 ・6/ 6「中小企業・起業家のためのマーケティング情報収集手法」 受講者数 64人 ・6/27「中小企業のブランド価値の伝え方」 受講者数 74人 ・7/16「顧客感動を呼ぶ「共感の時代」の商品開発とは？」 受講者数 80人 ・8/ 8「ヒットを生む「発見力」の鍛え方」 受講者数 37人 【今後の予定】 ・マーケティング支援講座 8回
						補足事項
	H26.3.31 現在	(開催回数) H24 / 12回 H25 / 13回 計 / 25回 (受講者数) H24 / 877人 H25 / 918人 計 / 1,795人	(開催日数) 69.4 (受講者数) 85.5 (%)			
	成果目標	開催回数 36回/3年 受講者数 2,100人/3年 (※再掲 事業5の内数)		・マーケティング支援講座 5回 受講者数 384人 (内訳) ・5/15「今、モノづくりから、ブランドづくりへ・・・」 受講者数 106人 ・6/6「中小企業・起業家のためのマーケティング情報収集手法」 受講者数 64人 ・6/27「中小企業のブランド価値の伝え方」 受講者数 74人 ・7/16「顧客感動を呼ぶ「共感の時代」の商品開発とは？」 受講者数 80人 ・8/8「ヒットを生む「発見力」の鍛え方」 受講者数 37人 ・9/4「ニーズの2歩先経営でファンの顧客を3倍にする方法」 受講者数 90人 ・10/10「消費税増税で商売繁盛する仕組み」 受講者数 42人 ・11/12「すぐに使える!売上アップの販売促進術」 受講者数 80人 ・12/10「お客様の怒りを笑顔に変えるコミュニケーション術」 受講者数 79人 ・1/9「クルマを売りたいなら、クルマの話はやめなさい!」 受講者数 96人 ・2/8「ソーシャル時代のプレスリリース作成講座」 受講者数 23人 ・2/26「モノの魅せ方と伝え方」 受講者数 67人 ・3/19「吉本興業 熱海に『住みやす専務』が語る「地域密着型ビジネス戦略」」 受講者数 57人		
	総合計画の位置付け(分野別)	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業評価	事業結果		
		大施策 (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成		・10/10「消費税増税で商売繁盛する仕組み」 受講者数 42人 ・11/12「すぐに使える!売上アップの販売促進術」 受講者数 80人 ・12/10「お客様の怒りを笑顔に変えるコミュニケーション術」 受講者数 79人 ・1/9「クルマを売りたいなら、クルマの話はやめなさい!」 受講者数 96人 ・2/8「ソーシャル時代のプレスリリース作成講座」 受講者数 23人 ・2/26「モノの魅せ方と伝え方」 受講者数 67人 ・3/19「吉本興業 熱海に『住みやす専務』が語る「地域密着型ビジネス戦略」」 受講者数 57人		
		中施策 ③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成 ②経営者・経営幹部の意識改革による経営能力の向上		・10/10「消費税増税で商売繁盛する仕組み」 受講者数 42人 ・11/12「すぐに使える!売上アップの販売促進術」 受講者数 80人 ・12/10「お客様の怒りを笑顔に変えるコミュニケーション術」 受講者数 79人 ・1/9「クルマを売りたいなら、クルマの話はやめなさい!」 受講者数 96人 ・2/8「ソーシャル時代のプレスリリース作成講座」 受講者数 23人 ・2/26「モノの魅せ方と伝え方」 受講者数 67人 ・3/19「吉本興業 熱海に『住みやす専務』が語る「地域密着型ビジネス戦略」」 受講者数 57人		
産業振興プランの位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	事業評価	次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進		講座形式のものだけでなくより実践に近い形式のワークショップ形式のセミナーを増やすほか、地元経営者による講座等も企画し、参加者のニーズに応えるような講座を開催していく。		
	基本施策	①マーケティング力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主査 四條 陽一郎 (内線) 82-2313		その他 (特記事項)			

事業 15	ものづくり 基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度			
	事業名	専門家による窓口相談		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,600千円の一部		
				決算額	中小企業支援センター運営補助金33,600千円の一部		
	事業概要	中小企業支援センターにおいて、 専門の異なる中小企業診断士等による 窓口相談を実施します。		取 組 状 況 H25.9.1 現在	窓口相談企業数 158社 窓口相談件数 195件 (業種別内訳) 製造業19件、卸売業7件、建設業6件、小売業16件、 サービス業130件、その他12件 (支援内容別内訳) 創業114件、経営革新13件、その他68件		
					補 足 事 項	進 捗 率 等	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(相談件数) H24 / 475件 H25 / 526件 計 / 1,001件	(相談件数)	111.2 (%)			
	成果目標	相談件数 900件/3年		事 業 評 価	事業結果 窓口相談企業数 398社 窓口相談件数 518件 (業種別内訳) 製造業48件、卸売業9件、建設業10件、小売業61件、 サービス業355件、その他35件 (支援内容別内訳) 創業272件、経営革新17件、その他159件		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV 産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産 業構造の知的高度化				
		大 施 策	(2) 地域産業の活力強化				
		中 施 策	③ 経営基盤とマーケティングカ の強化				
産業振興 プランの 位置付け	基本 方 向		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等				
	基本 方 針						
	基本 施 策						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主査 四條 陽一郎 (内線) 82-2313		そ の 他 (特記事項)				

事業 16	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度			
	事業名	コンサルティングの実施		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部		
				決算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部		
	事業概要	中小企業支援センター及び清水産業・情報プラザにおいて、専門家を事業者に派遣し、問題解決のための診断・助言を行います。		取組状況 H25.9.1 現在	【中小企業支援センター】 ・専門家派遣企業数 15社 ・専門家派遣件数 24件 (派遣内容内訳) 経営全般10件、IT5件 (派遣業種内訳) 製造業2件、サービス業10件、その他3件 【清水産業・情報プラザ】 ・専門家派遣件数11件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース8件、BCP策定コース1件、品質向上コース1件、HACCPコース1件 (派遣業種内訳) 製造業7件、卸売業3件、印刷業1件		
					補足事項	進捗率等	H25.9.1 現在
				H26.3.31 現在	(派遣回数) H24 / 112件 H25 / 120件 計 / 232件	(派遣回数) 35.2 (%)	
	成果目標	派遣回数 660件/3年					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	【中小企業支援センター】 ・専門家派遣企業数 56社 ・専門家派遣件数 109件 (派遣内容内訳) 経営全般49件、マーケティング16件、IT20件、その他24件 (派遣業種内訳) 製造業21件、卸売業0件、建設業3件、小売業5件、サービス業67件、その他13件 【清水産業・情報プラザ】 ・専門家派遣件数 11件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース8件、BCP策定コース1件品質向上コース1件、HACCPコース1件 (派遣業種内訳) 製造業7件、卸売業3件、印刷業1件	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興プランの位置付け	基本方向			事業評価			
	基本方針				次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	【中小企業支援センター】 支援機関との連携や相談窓口から活用できるようにしていただくなど、利用率増加に努める。 【清水産業・情報プラザ】 専門家派遣件数の増加を目指すとともに、成果を共有できるように発表会を開催する。	
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主任主事 佐藤 貴司 (内線) 82-2313		その他(特記事項)				

事業 17	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度			
	事業名	専門家の指導による商品企画・開発支援		予算額	指定管理料115,540千円の一部		
				決算見込額	指定管理料115,540千円の一部		
	事業概要	産学交流センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を活かした商品づくりに対する支援を行います。		取組状況 H25.9.1 現在	【「静岡おみやプロジェクト」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成25年6月13日～平成25年3月末 ・参加企業数 6社 ・9月1日現在において、マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の商品企画及び企画書精査を実施。 【今後の予定】 ・デザイナーによる講義を経たのち、テストマーケティング(11月下旬) ・東京での試食評価会(1月) ・成果発表会及び販売会(3月)		
					補足事項	進捗率等	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(支援プロジェクト数) H24 / 1件 H25 / 1件 計 / 2件	(支援プロジェクト数) 66.7 (%)				
	成果目標	商品企画・開発支援プロジェクト プロジェクト数 3件/3年		事業 評価	【「静岡おみやプロジェクト」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成25年6月13日～平成25年3月末 ・参加企業数 6社 ・マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 ・11/30、12/1 テストマーケティング実施 ・1/29 商談会実施 ・3/5 成果発表会実施 ・3/29・30 お披露目販売会実施		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化				
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興プラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	次年度以降は、観光の視点を取り入れた新しい切り口で商品開発を実施していく予定である。			
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	①マーケティング力の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主査 四條 陽一郎 (内線) 82-2313		その他(特記事項)				

事業 18	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度		
	事業名	起業に向けたビジネスプラン策定等の支援	予算額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び産学交流センター指定管理料115,540千円の一部		
			決算見込額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び産学交流センター指定管理料115,540千円の一部		
	事業概要	新規に事業展開を目指す事業者等を対象にコンテストを実施、受賞者に対する事業化に向けた支援を実施します。	取組状況 H25.9.1 現在	10月25日を応募期限として、ビジネスプランを募集中。 9月1日までに、セミナー開催数 2回実施、受講者数 30人		
				【今後の予定】 ・応募締め切り 10月26日 ・書類審査 11月上旬 ・プレゼン審査 11月29日、11月30日 ・最終審査会 2月24日		
	補足事項		進捗率等 H25.9.1 現在			(%)
				H26.3.31 現在	(コンテスト応募件数) H24 / 112件 H25 / 71件	(応募件数) 88.8 (%)
	成果目標	コンテスト応募件数 80件/年				
	総合計画の位置付け(分野別)	IV産業・経済 政策方針 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業結果 ビジネスプランは、71件の応募があった。 書類審査(11月上旬実施)において、プレゼン審査に進出する一般部門15者、学生部門9者を選出。 プレゼン審査(11月30日、12月1日実施)において、最終審査会に進出する一般部門6者、学生部門4者を選出。 最終審査会を2月24日(月)に実施。審査会終了後、表彰式及び交流会を実施。 本事業に関するセミナー開催数 実施回数4回 参加者数74人			
		大施策 (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成				
中施策 ③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成						
産業振興プラン位置付け	基本方向 4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等				
	基本方針 (1) 創業支援					
	基本施策 ①インキュベート機能の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主任主事 佐藤 貴司 (内線) 82-2313		その他 (特記事項)			

事業 19	ものづくり 基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度			
	事業名	創業者等の営業機会拡大等のための 各種事業の実施		予算額	清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円及び SOHOしずおか運営補助金14,500千円の一部		
				決算見込額	清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円及び SOHOしずおか運営補助金14,500千円の一部		
	事業概要	清水産業・情報プラザ及びSOHO しずおかにおいて、創業者等の経 営相談や営業機会拡大等のための各 種事業を実施します。		取 組 状 況 H25.9.1 現在	(清水産業・情報プラザ) ・専門アドバイザーによる定期相談 22回 46件 (情報化 34件、創業 7件、法律 3件、特許 2件) (SOHOしずおか) ・起業相談 117件 ・経営相談 245件 ・ブレイクスルーセミナーの開催 開催数 2回、参加者数117人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催		
					補 足 事 項	進 捗 率 等	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(相談件数) H24 / 1,602件 H25 / 931件 計 / 2,533件	(相談件数) 211.1 (%)				
	成果目標	相談件数 1,200件/3年 営業機会拡大等に関する各種支援の実施		事 業 評 価	事業結果 (清水産業・情報プラザ) 専門アドバイザーによる定期相談 開催回数 22回 相談件数 46件 (SOHOしずおか) ・起業相談 265件 ・経営相談 620件 ・ブレイクスルーセミナーの開催 開催数 2回、参加者数117人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV 産業・経済 1 都市型産業集積を目指した 産業構造の知的高度化				
		大 施 策	(2) 地域産業の活力強化				
		中 施 策	③ 経営基盤とマーケティングカ の強化				
産業振興 プラン 位置付け	基本 方 向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成	次 年 度 に 向 け た 改 善 点 ・ 目 標 の 未 達 成 理 由 等	(清水産業・情報プラザ) 来年度も定期相談を開催するが、相談者に対するフォローアッ プに取り組み、特に創業者の増加につなげていく。			
	基本 方 針	(1) 創業支援					
	基本 施 策	① インキュベーター機能の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主任主事 佐藤 貴司 (内線) 82-2313		そ の 他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度		
	事業名	専門家の指導等による商品企画・開発等支援の拡充(新商品・特許)		予算額	7,150千円	
				決算見込額	6,951千円	
	事業概要	市内中小企業・製造業者が行う新商品開発及び特許等の産業財産権出願などに関する経費の一部を助成します。また、助成事業の範囲を拡充します。		取組状況	H25.9.1現在	<p>■新商品等開発助成</p> <p>新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、9月1日現在、4件の補助金交付申請を受理しています。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付します。(交付見込額:3,490千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成</p> <p>平25年度から商標登録出願を補助対象に新たに加えたことにより、9月1日現在、補助金交付申請件数17件と昨年に比べて増加しました。</p> <p>特許:8件、意匠:2件、実用新案:1件、商標:6件</p> <p>今後、事業完了報告を経て補助金を交付します。(交付見込額:1,583千円)</p>
					進捗率	H25.9.1現在
	H26.3.31現在	<p>(新商品助成件数)</p> <p>H24 / 3件</p> <p>H25 / 4件</p> <p>計 / 7件</p> <p>(産業財産権助成件数)</p> <p>H24 / 20件</p> <p>H25 / 33件</p> <p>計 / 53件</p> <p>(新商品助成件数) 58.3</p> <p>(産業財産権助成件数) 84.1 (%)</p> <p>(予算執行率) 97.2</p> <p>(参考) 2事業合計対予算執行率</p>				
	補足事項					
	成果目標	新商品 12件/3年 産業財産権 63件/3年 (対象事業を拡充)		<p>■新商品等開発助成</p> <p>新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理しました。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題点等はあったもののおおむね順調に開発を進めていた。年度末の事業完了報告を受け補助金を交付した。(交付金額:3,490千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成</p> <p>年度末までに次のとおりの交付申請があった。</p> <p>申請件数33件 (内訳) 特許 17件、意匠 3件、実用新案 3件、商標 10件 (交付金額:3,461千円)</p> <p>■事業の周知活動</p> <p>昨年に引き続き、各関係団体に対して本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めるとともに、今年度は、市内信用金庫を中心に大規模展示会出展等支援事業補助金と併せて周知を行った。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経営 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	
		大施策	(3) 知的産業を支える知的経営資源の活用強化			
中施策		①研究開発力の強化				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価等 (事務担当記載項目) 所属部会からの意見及び指摘事項		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進				
	基本施策	①マーケティング力の強化				
所属部会	<p>■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員</p> <p>■事務担当 工業支援担当</p>		<p>(事業担当記載事項)</p>			
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 工業支援担当</p>		<p>改善点・目標の未達成理由等</p> <p>中小企業者支援を明確にするため、「みなし大企業」に該当する場合は、補助対象事業者から除く規定を設ける。</p>			